

## 第2学年西組 図画工作科学習指導案

学習指導者 造田 朋子

### 1 題材 「自分が作品！ -わっかでへんしん-

#### 2 題材について

##### (1) 育成したい「思考力」と学びに熱中する子どもの姿

###### 【育成したい「思考力」】

祭りや仮装の写真から感じたことを基に、輪に付ける飾りをなりたいものに合うように、材料や色を選んだり、いろいろな形を試しながらつくったりして表現方法を吟味する力

自分や友達になりたいものや変身する過程に興味をもち、鏡で見たり友達と見せ合ったりして、イメージに合う飾りやその付け方について話し合いながら、楽しんで制作している。

###### 【学びに熱中する子どもの姿】

本題材では、祭りやハロウィンの仮装の写真から感じたことを基に、自分がなりたいものを決め、それに変身するために、つくった輪の飾りを頭や手等に身に付けて、自分を飾り付けていく。その際、子どもたちは、飾りの材料や色を選んだり、材料からいろいろな形をつくったりして試しながら、どのような飾りを付けると自分がなりたいものに合うのかを考えていくのである。例えば「長崎くんち」の写真を見て、「強そうな竜になりたい。」と感じた子どもが、「竜だから頭に角があるよ。木の枝を角にして、銀色のアルミホイルを巻いてみよう。」や「竜のたてがみは、画用紙で巻き毛をつくったけれど、獅子みたいにもう少し長く垂らした方がいいかな。」と表現方法を吟味していくのである。

制作過程で子どもたちは、自分が変身していく姿を鏡で見ながらイメージに合うか確認したり、友達はどうな姿に変身しようとしているのか見たいと思ったりするだろう。その際、友達と変身した姿を見せ合い、互いに感じたことや、もっとこうしたらいいと思ったことを話し合いながら、自分がなりたいものに合うように頭の輪に飾りを付け足したり、頭の輪以外にも新しい輪の飾りをつくったりしていくだろう。例えば、「僕は魔法使いだからとんがり帽子をかぶっているよ。三角のとんがり帽子にして周りにモールを付けてみたよ。」という友達に、「すてきな帽子だね。黒いマントもできそうだよ。」と黒いビニール袋を見せながら返答したり、「私は虹の妖精よ。虹の輪を七色の画用紙でつくったよ。」という友達に、「虹は空にあるから、雲も付けたらどうかな。」と白い綿を渡しながらアドバイスしたりして、楽しんで制作する子どもの育成を目指していく。

##### (2) 二つの場を位置づけた題材構成について

子どもたちにとって、自分がなりたいものに変身する制作活動は楽しいものである。本学級でも事前の質問紙調査の結果から、工作が好きな子どもは34名中33名いることが分かっている。また、自分だけの想像の作品づくりが好きな子どもは28名、友達とよさを交流するのが好きな子どもは27名いる。しかし、制作が進む内に思ったように表せなくなると感じている子どもは19名いる。これらのことから、自分がなりたいものに合わせて輪の飾りを制作していく際に、「友達に自分の飾りを見てもらいたい。」「友達のいいところを見つけない。」「他にどんな工夫ができるか知りたい。」等の問題をもつと考える。そこで、従来、作品の完成後に設定することが多い鑑賞会を、本題材では制作途中にも設定する。1回目の鑑賞会は、制作途中の自分の飾りを身に付けて、互いによいと思ったことやもっとこんな工夫ができると考えたことを話し合う。ここでは、友達の見方や感じ方からヒントを得て課題を解決していく。さらに、子どもたちは本題材までに、図工室以外で造形遊び等の活動をした経験があるので、「なりたいものに合う場所で変身したらもっと楽しいかな。」という新たな問題を見いだすことが予想される。そこから、変身した自分に合う場所で鑑賞しようという課題を設定し、2回目の鑑賞会を行う。その際、1回目の鑑賞会からの作品の変化のよさを互いに認め合いながら課題を解決していくことで、さらに子どもの意欲を育てていきたい。

(3) 題材構成と学習意欲への働きかけ (総時数 5時間)

次	主な子どもの意識	学習意欲への働きかけ
第一 次	<p>①</p> <p>輪っかの飾りをつくって変身して、みんなで仮装大会を開きたいな。                  どんなものに仮装しようかな。なりたいものに変身するっておもしろそう。  <b>自分のなりたいものを詳しく考えよう</b></p> <p>お化けに仮装した時、怖がられておもしろかったからもっと怖くしたい。祭りの竜は角が光っていて強そうに見えるよ。そんな竜になりたいな。                  飾りを付けて早く変身したいな。</p>	<p>①～⑤ 祭りや仮装の写真を見せたり、仮装の経験がある子どもに話をさせたりして、変身したいものの体の特徴や行動等からイメージを膨らませられるようにする。資料の写真は教室に掲示し、必要な時に自由に見て作品づくりに活用できるようにする【資料の提示：注知覚的喚起】。</p>
第二 次	<p>②</p> <p>輪っかに飾りをつけて変身しよう</p> <p>お化けを怖くしたいから、黒い紙を長く切って顔に垂らそう。角を強そうにしたいから、木にアルミホイルを巻いて光らせよう。                  もっともっと怖くするには、他にどんな飾りを付けたらいいのかな。立派な角ができて強そうだよ。友達にこの角を見せたいな。  <b>友達と見せ合ったら、もっと工夫が見つかるかな。</b></p> <p>友達と見せ合うと新しい工夫が見つかったよ。自分の飾りもいいねって言われたよ。友達と話すともっと工夫できるから、鑑賞会をしたいな。</p>	<p>①～⑤ 活動を振り返る時間をとり、作品の変化や自分が頑張ったことをワークシートに残し、伸びを実感できるようにする。教師は肯定的なコメントを返し、意欲を持続させる【肯定的な振り返り：満内発的な強化】。</p>
第三 次	<p>③ 本時 (3/5)</p> <p>友達と見せ合って、飾りをもっと工夫しよう</p> <p>角がかっこいいね。ビーズとかの飾りも付けたらもっと光って見えるよ。昔話に出てくるやまんばみたいに、白髪も付けたらどうかな。  <b>鑑賞会をしたら、次につくる飾りの工夫が分かってきたよ。</b></p> <p>白髪も怖いけれど他にもっと怖い工夫はないかな。友達と話してこよう。竜のうろこも付けて光らせるともっと強く見えるかな。手も飾ろう。                  鬼の角を付けたらって言われたけれど、もっと怖そうな角にしたいな。うろこが付いたから強く見えそうだな。友達にも聞いてみよう。  <b>友達と見せ合ったら、飾りの工夫が見つかって作品がよくなってきたよ。</b>  <b>次も、友達と見せ合って、今よりもっと工夫を考えたいな。</b></p>	<p>②～④ どのようにつくればよいか分かりにくい子どものために、製作の手順等を補助黒板に示す。個に応じた声かけも行い、見通しをもって取り組めるようにする【手順表の提示：関目的指向性】。</p>
第四 次	<p>④</p> <p>友達と見せ合って、飾りをもっともっと工夫しよう</p> <p>角やうろこが光って強そうに見えるよ。怖い角は牛みたいに曲げて尖らせたらいいよ。魔法使いのとんがり帽子をもっと光らせたよ。                  1回曲げてとがらせた方が怖そうな角だね。魔法使いは黒いマントも着ていると思うよ。竜のたてがみをもっと長くしたらどうかな。  <b>友達と話したから、もっとよい工夫が見つかって、飾りがよくなったね。</b>  <b>なりたいものに合う場所で変身したらもっと楽しいかな。</b></p>	<p>②～④ 友達にアドバイスをもらいたいタイミングで、自由に友達と話せる「アドバイスコーナー」を設定する【アドバイスコーナー：目成功の機会】。</p>
第五 次	<p>⑤</p> <p>自分に合う場所で変身して、仮装大会を開こう</p> <p>強い竜の感じにしたいから、ジャングルジムの上で強いポーズをとるよ。〇〇さんの竜は、角やうろこが光ってきらきらして強そうに見えるよ。  <b>いろいろな場所で変身したら、みんなとてもすてきに見えたよ。</b></p>	<p>— 評価規準 (第2次) —                  なりたいものに合うように飾りの材料や色を選んだり、いろいろな形をつくりたりして制作している。</p>

### 3 本時の学習指導

#### (1) 目標

友達と見せ合って思ったことを話し合う中で、自分のなりたいたいものに合うような工夫を考え、飾りの材料や色を選んだり、形を試しながらつくったりすることができる。

#### (2) 学習指導過程

学 習 活 動	子 ども の 意 識
<p>・学習前の子どもの課題意識</p> <p>1 前時までの製作を振り返り本時の学習課題を設定する。</p>	<p>怖いお化けにしたいから、髪は黒い紙を切って顔に垂らしたよ。まだ工夫ができるかな。</p> <p>強そうな竜にしたくて、竜の頭に銀色の角を付けたよ。友達にも見てもらいたいな。</p> <p>友達と見せ合って、もっと工夫を見つけない。</p>
<p>友達と見せ合って、飾りをもっと工夫しよう</p>	
<p>2 鑑賞会をして、工夫を考える。</p>	<p>竜の角が光って強そうだね。きらきらして見える飾りも付けたらもっといいよ。</p> <p>髪の長いお化けには昔話に出てくるやまばみみたいに白髪も付けたらどうかな。</p> <p>魔法使いのとんがり帽子は、先を曲げて形を変えたら魔女の感じがしそうだよ。</p> <p>鑑賞会をしたら、次につくる飾りの工夫が分かってきたよ。</p> <p>いい工夫を思いつくから、友達と見せ合いながらつくりたいな。見てほしいときや困ったときはアドバイスコーナーに行こう。</p>
<p>3 必要な時に友達と見せ合って話し合いながら、自分の飾りをつくる。</p> <p>【資料の提示：注知覚的喚起】</p> <p>【手順表の提示：関目的指向性】</p> <p>【アドバイスコーナー：自成功の機会】</p>	<p>〈すぐ交流〉</p> <p>怖いお化けになりたい。白髪にすると怖いと思うけれど、もっと怖くなる工夫はないかな。Bさんは、お化けになるならどうするの。</p> <p>私は、おしゃれな魔法使いになりたい。Aさんがしている黒い髪もいいけれど、鬼みたいに尖った角があったらもっと怖くなると思うよ。</p> <p>強い竜になりたい。角にビーズを付けて光らせよう。きらきらのおはじきをうろこにして付けるともっと強く見えるかな。手にも飾ろう。</p> <p>明るい色のモールを何本もつなげて、宝石が光っているようにしたらどうかな。</p> <p>帽子に金の星や赤い紙で宝石を付けたよ。もっとおしゃれにしたいな。</p> <p>おはじきでうろこを付けたから、光って強く見えるようになった。友達に見てもらいたいな。</p> <p>もっと怖くするために鬼の角をもっととがらせてみよう。固い紙を丸めてつくってみよう。</p> <p>飾りが光って、初めより強そうだね。たてがみも付けてみたらどうかな。</p> <p>たてがみを付けるなら、色紙よりも毛糸でつくった方がよさそうだな。</p>
<p>4 本時の製作を振り返り、次時への課題をもつ。</p> <p>【肯定的な振り返り：満内発的な強化】</p>	<p>アドバイスコーナーに行って友達と話したら、飾りがもっとよくなるね。これからどんな工夫をしたらいいかも分かってきたよ。</p> <p>次も、友達と話して、今よりもっと工夫を考えたいな。</p>

提案授業Ⅱ指導案  
二日目

### (3) 本時の詳細

#### 前時までの子どもの意識 学習活動1

前時に子どもたちは、自分がなりたいたいものに変身するための飾りをつくり始めている。自分の飾りに満足している子どもは、友達に見てもらいたいと思っている一方、自分の飾りの工夫が思いつかない子どもは、友達と話して工夫を見つけたいと思っている。そこで、友達と見せ合う活動を行っておく。子どもたちは、友達と作品を見せ合うことで工夫が見つかったという思いをもち、「友達と見せ合って、もっと飾りを工夫したい。」という課題を設定する。本時はその学習課題を確認し、学習の見通しをもたせる。



【授業開始前の輪の飾り】

#### 学習活動2

鑑賞会の約束は、活動3の「アドバイスコーナーの約束」と同じである。全員がこの約束の下で見せ合うことで、次の活動の際、自分たちで話し合えるようになる。また、見せ合った後、どんな工夫が見つかったか、次にどんな工夫をしたいかを代表者に全体で発表させ、友達との協働のよさを共有できるようにする。そうして、製作中も協働しようという思いを持続できるようにする。

- なかよく話すために
- 1 だれでもベアやグループになって話す。
  - 2 友だちのかざりをよくするための話をする。
  - 3 友だちのかざりや、心をきすつけない。
  - 4 話し終わったら「ありがとう。」を言う。

【アドバイスコーナーの約束】

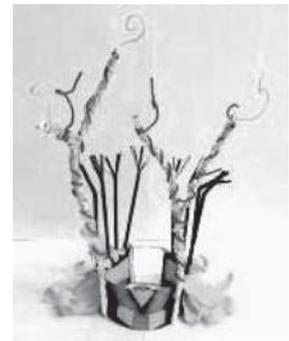
#### 学習活動3

製作中には、すぐに友達と話し合っ自分の課題を解決したいと考える子どもや、まずは自分の作品をつくることに没頭したい子ども等、子どもによって話し合いたいタイミングが違っている。そこで、子ども一人一人の必要感を大切に、必要なときに行き自由話し合える場「アドバイスコーナー」を用意する【アドバイスコーナー】。そこには、「アドバイスコーナーの約束」を掲示しておく。こうして、話し合いの雰囲気をよくするための約束と、話し合う際の手順や内容についての約束を示しておくことで、子どもたちが、話し合いを温かい雰囲気の中で見通しをもって行い、飾り付けの工夫を考えられるようにする。

また、「アドバイスコーナー」には、日本や外国の祭りの写真、動物のイラストや図鑑等の資料を提示しておき、自分のなりたいたいもののイメージを膨らませられるようにする【資料の提示】。さらに、飾りの製作手順や輪のつくり方、材料の加工方法、接着のしかた等、製作に必要な知識を提示しておき、飾りをつくるための知識や技能を補助する【手順表の提示】。これらの資料や手順表は掲示するとともに、教師が個別に声をかけて、その子どもが見るべきところを示したり、説明を補ったりすることで、子どもたちはそれぞれが設定した課題を解決していけると考える。

#### 学習活動4

本時、友達と見せ合って話し合うことで自分の飾りがどのように変わったか、前時までの飾りの写真と見比べながら振り返らせる。よくなったことや頑張ったことをワークシートに書き、自分の伸びを実感できるようにする【肯定的な振り返り】。協働のよさについても、全体で発表させることで、次も友達と協働しながら製作したいという思いを共有し、次時の課題へつなぐ。



【授業後の輪の飾り】

### (4) 総括的評価

自分がなりたいたいものに合うように、飾りの材料や色を選んで輪に付けたり、画用紙等でいろいろな形をつくらしたりして試しながら製作している。

<例>僕は強い竜になりたくて、立派な光る角をつくりました。友達と話して、もっと強くなるために、きらきら光って見える材料を選んで角の飾りやうろこを付けました。

【方法：作品、振り返りのワークシート】



## アドバイスコーナーのやくそく



### なかよく話すために

- 1 だれとでもペアやグループになって話す。
- 2 友だちのかざりをよくするための話をする。
- 3 友だちのかざりや、心をきずつけない。
- 4 話し終わったら「ありがとう。」を言う。

### くふうを見つけるために

- 1 はじめに、かざりを見せて、自分のなりたいものと、どんなかんじにしたいかを話す。
- 2 つぎに、まよっていることや、アドバイスしてほしいことを話す。
- 3 聞いた人は、自分が思ったことや考えたことを話してアドバイスをする。
- 4 話す人と聞く人が交たいする。



# 自分が作ひん！ーわっかでへんしんー①



2年 ( ) 組 ( ) ばん 名前 ( )

自分をかざって，〇〇〇に大へんしん！！

さあ，あなたは何にへんしんしたいかな？



1 あなたは，何にへんしんしたいですか？

Two horizontal lines for writing an answer to question 1.

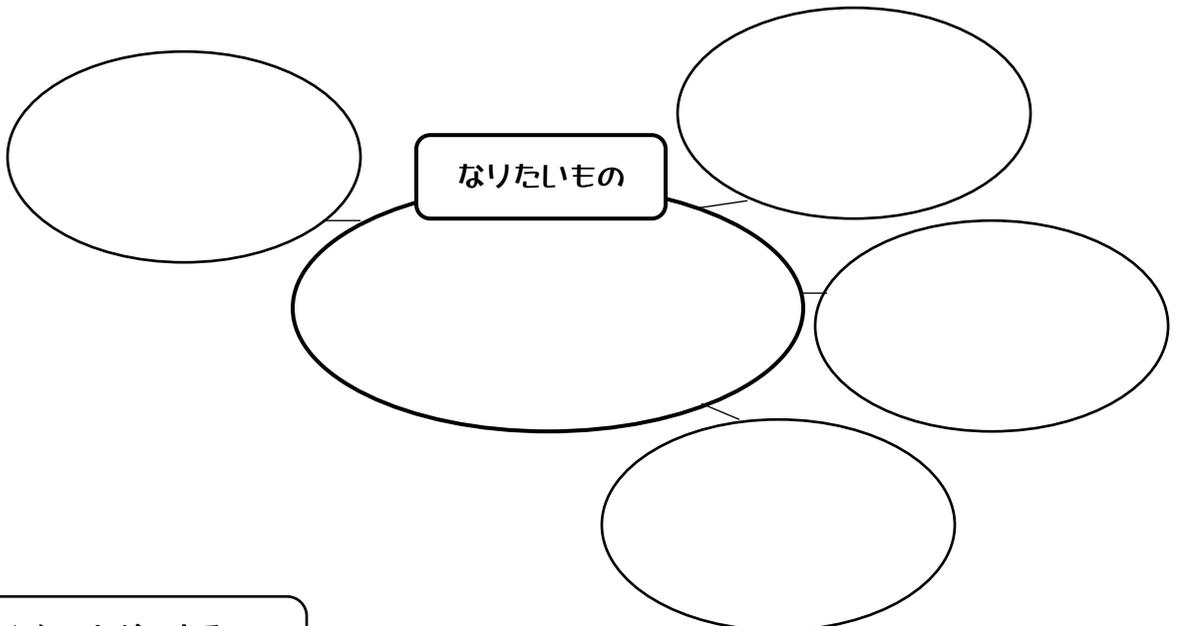
2 へんしんしたいものは，どのようなもので，どんなようすをしているでしょう？

**どんなかんじがする？**

強そう，弱そう，明るい…

**どんな体をしている？**

とげとげ，きらきら，はね…



**どんなことができる？**

空をとぶ，およぐ…

👧👦 **自分が作ひん！ーわっかでへんしんー②** 🧒👧

2年（ ）組（ ）ばん 名前（ ）



〈頭のわっかつくろう！！〉

- 1 自分のイメージに合う、わっかの色をえらぼう！
  - 2 わっかをつくろう！
- \* ホッチキスのはりのむきに気をつけて！！



- 3 わっかに色画用紙をはりつけよう！

\* 色画用紙は、（ ）ではりつける。

- 4 わっかに大きなかざりや、しっかりつけたいざいりょうをつけよう！

\* のりではるもの…色画用紙、おり紙などの「紙」

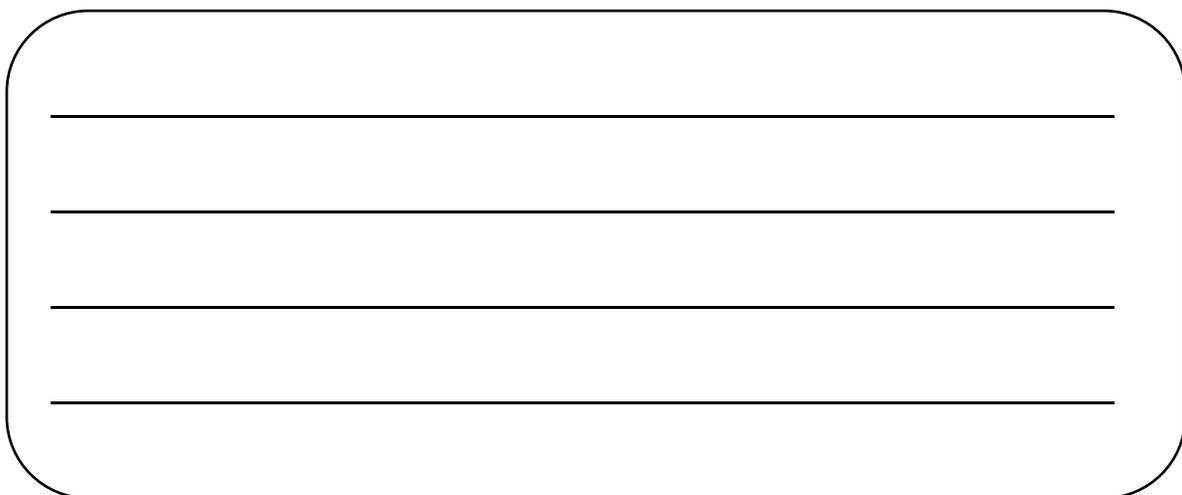
\* ボンドタッチではるもの…紙のほかのもの「ガラス」「プラスチック」「毛糸」「木」「わた」

★ どちらも、しっかりのばしてつけよう！

★ 自分がつかいたいざいりょうをあつめて、もってきてもいいですね。

5 今日のかざりのしゃしん

6 今日がんばったことや、つぎしたいことをふりかえりましょう。



A large rounded rectangular box with a black border, containing four horizontal lines for writing. The lines are evenly spaced and extend across most of the width of the box.

 自分が作ひん！ -わっかでへんしん- ③ 

2年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )

め

〈しゃしんをはるところ〉

## <ふりかえり>

① 今日のがんばり（前の時間のかざりとくらべて…）色・形・ざいりょうのくふう

---

---

---

---

---

---

---

---

② つぎの時間には、自分のなりたいものにぴったりの場しよで見せ合おう！どこで、どんなふうに見せたいですか？

---

---

---

---

---

どんな場しよで変身しようかな？  
自分にぴったりの場しよはどこかな？

